地域再生計画 事後評価表

(道整備交付金)

地域再生計画の名称:定住と人・物・情報の交流を促進する便利で安全な町の基盤づくり 計画期間(平成22年度~平成26年度)

平成27年6月

日高川町

地域再生計画 事後評価結果について

評価年月日: 平成27年6月

	計	計 画		名	定住と人・物・情報の交流を促進する便利で安全な町の基盤づくり		第20回
4) = l = r	作	成	主	体	日高川町	認定年月日	平成22年3月23日
1)計画の 概要	計	画	区	域	日高川町全域	変更認定回	第15回
加及	計	画	期	間	平成22年度~平成26年度	変更認定年月日	平成25年4月26日
	支	援	措	置	地域再生基盤強化交付金(道整備交付金)		

	指	標	名	設定時	目標値	実績値	評価		
				(森林整備面積)	20 %增	20 %增	0		
	 1. 林業の振興と地域環:	培の改善		518 ha	620 ha	620 ha	O		
2)地域再	1. 怀未仍派兴C地以垛. 	現の以音		(森林資源の搬出時間の短縮)	8 分短縮	8 分短縮	0		
生計画に				65 分	57 分	57 分			
記載した	2. 道路整備による拠点が	佐砂 ヘ のマクセフ む	羊	(集落から都市部への走行時間短縮便益)	67 %の縮減	67 %の縮減	0		
目標の達 成状況	2. 坦路登舗による拠点	他設へのアクセベス	当	7,125 千円/年	2,375 千円/年	2,375 千円/年	O		
7人1人7儿	 3. 災害時救助ルートので	定 亿		(確保率)		(町道皆瀬打尾線 L=220m未完)			
	3. 火告時秋助ルードの1	TE IX		5ルート中2ルート整備	4 割	2 割			
	4 白然エカルギーの字	テ州終の確保		(木質パウダー需要量)	2 倍	2 倍	0		
	4. 日然エベルキーの女。 	. 自然エネルギーの安定供給の確保			112 t/年	112 t/年	9		

3)総合評 価及び今 後の方向

本地域再生計画により、町道と林道の一体的な整備により森林からの搬出経路が確保でき、森林資源を活用した基盤整備ができた。また、懸念されていた地域 の広域道路への円滑な救援ルートが確保でき、「道路ネットワーク」の強化が図れた。 今後は、さらに異常気象時等による風水害など災害時における緊急アクセス路を確保するため、林道・町道・県道のネットワークの強化を図り、また地域産業の

振興を担う若者定住を促進し、地域社会の自主自立を目指していく。

地域再生計画 事後評価結果の見方

計画の名称や期間・区域・活用する支援措置など、計画の概要を記載しています。

本評価は、地域再生計画の「7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項」に基づき、目標の達成状況等について公表するものです。

評価年月日: 平成27年6月

' I.								
		計 画		名	定住と人・物・情報の交流を促進する便利で安全な町の基盤づくり	認定回	第20回	
1)計概要	4)=1 6	作	成	主	体	日高川町	認定年月日	平成22年3月23日
		計	画	区	域	日高川町全域	変更認定回	第15回
	IM S	計	画	期	間	平成22年度~平成26年度	変更認定年月日	平成25年4月26日
		支	援	措	置	地域再生基盤強化交付金(道整備交付金)		

各目標の達成状況を次 の4段階で評価していま す。

- •達成=〇
- ・概ね達成=△ (80%以上)
- ・少し達成=▲ (50%以上80%未満)

「4地域再生計画の目標」に揚げた目標値について、達成状況を記載しています。

		指	標	名	設定時	目標値	実績値	評価	
					(森林整備面積)	20 %增	20 %増	0	
		│ │ 1. 林業の振興と地域環境	きの改善		518 ha	620 ha	620 ha	O	
	2)地域再	1. 你来仍派典C地域垛5	見の以告		(森林資源の搬出時間の短縮)	8 分短縮	8 分短縮	0	
	生計画に				65 分	57 分	57 分	O	
記載した	記載した目標の達	2. 道路整備による拠点旅	記へ のマクセス む	羊	(集落から都市部への走行時間短縮便益)	67 %の縮減	67 %の縮減	0	
	目標の達 成状況	2. 垣崎金浦による拠点が	画は、いううとへは		7,125 千円/年	2,375 千円/年	2,375 千円/年	O	
凡	及1人 近	3. 災害時救助ルートの確	字/모		(確保率)		(町道皆瀬打尾線 L=220m未完)	•	
		3. 火告時秋めルードの幅 	E IT		5ルート中2ルート整備	4 割	2 割	•	
		4 白鉄エネルギーの宍豆	エネルギーの安定供給の確保		(木質パウダー需要量)	2 倍	2 倍	O	
		4. 日然エイルイーの女人 	と氏心の症体		56 t/年	112 t/年	112 t/年	O	

3)総合評 価及び今 後の方向 本地域再生計画により、町道と林道の一体的な整備により森林からの搬出経路が確保でき、森林資源を活用した基盤整備ができた。また、懸念されていた地域 の広域道路への円滑な救援ルートが確保でき、「道路ネットワーク」の強化が図れた。

今後は、さらに異常気象時等による風水害など災害時における緊急アクセス路を確保するため、林道・町道・県道のネットワークの強化を図り、また地域産業の 振興を担う若者定住を促進し、地域社会の自主自立を目指していく。

各施設の整備区域又は整備箇所を示した図面

